

□主な内容

【2007 年度の温室効果ガス排出量 (速報値) の公表】

環境省の発表では、運輸部門は 2006 年度比-1.6%の 2 億 4,900 万 t-CO₂となり、2010 年度目標である 2 億 4,000 万 t-CO₂に向けて、着実に成果がでています。

【「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 横浜を開催】

地球環境問題や地域社会の課題を踏まえて、地域交通とまちづくりに関して、研究発表、クイズ大会、講演・パネルディスカッションが行われます。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 28 回)

●「『気づく』ことの大切さを」

【NPO 法人自転車活用推進研究会事務局長兼理事長 小林成基】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 28 回)

●「松山市での EST の取り組み第 2 報」

【松山市都市整備部総合交通課副主幹 石井 朋紀】

3. ニュース／トピック

●アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する「京都宣言」の署名式について
【環境省】

●2007 年度 (平成 19 年度) の温室効果ガス排出量 (速報値) について【環境省】

●第 16 回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】

●エコドライブ推進月間について【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】

●エコ・ルールサポーター募集【富山市】

●自転車専用通行帯 (自転車レーン) の実証実験をおこないます【静岡市】

●水島コンビナート・エコ通勤実証実験を実施します【倉敷市】

●エコドライブキャンペーンを実施します【京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会】

●「低燃費コンテスト&シーニックの森づくり」参加者募集！【シーニックバイウェイ支援センター、株式会社トヨタレンタリース札幌】

●Suica の鉄道乗車履歴を利用した駐車料金の優待サービスを開始【パーク 24、東日本旅客鉄道】

●「エコバックな羽得エコきっぷ」を JTB で限定発売【JTB、京浜急行電鉄】

●ゼロ・エミッションに向けた次世代交通システムの検討に合意【ルノー・日産アライアンス、横浜市】

●より低燃費な運転を支援する「エコロジカル・ドライブ・アシスト・システム」を新開発【ホンダ】

4. イベント情報

●交通エコフェスタ【2008/11/29】

●第3回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 横浜【2008/12/6】

●第7回 グリーン物流パートナーシップ会議【2008/12/19】

●交通権学会 関東部会【2008/12/20】

5. その他

●EST 創発セミナーの講師発表資料を EST ポータルサイトに掲載

●記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第28回)

●「『気づく』ことの大切さを」

【NPO 法人自転車活用推進研究会事務局長兼理事長 小林 成基】

NPO自転車活用推進研究会が「エコサイクル・マイレージ」をスタートさせてから、5年以上になります。自転車で走った距離と時間を入力すると、同じ距離をクルマで走行した場合のCO2排出量に換算して表示する機能や、消費カロリー計算が自動化されており、氏名住所などを登録するだけでブログも無料で利用できます。既に4,900名以上の参加者が日々の自転車利用について意見や情報の交換を行い、研究会にたくさんの実態データを提供してくれています。当初、このサイトは自転車通勤の実態調査のために設置したのですが、調査後も継続して欲しいという要望が強く、今日までサイト閉鎖を無期限に延期しています。

このサイトが支持されている背景には、環境、健康、高齢化という時代の課題が横たわっています。資源と環境の有限性が認識され、エネルギー高騰時代が到来しました。原油価格は一時的に値下がりしていますが、国際エネルギー機関(IEA)のエネルギー白書最新版では、2030年に1バレル=200ドルと予測しています。安い原油の時代は終わったのです。また、メタボ対策や美容にも自転車の効用が認識され、体重が重すぎてマラソンができない人にも効果的な運動として脚光を浴びています。そして、世界最高水準の高齢化率です。クルマを運転しなくなった高齢者の実に六割以上が自転車に乗り換えているという調査もあります。

しかし、世界で唯一、歩道走行を法律で認めてしまうという非常識がまかり通っている日本では、自転車が安全な交通機関とは言えません。自転車走行空間の整備とともにクルマの

ドライバーの法令遵守と自転車利用者の教育が喫緊の課題です。そうしたことに気づくヒントをエコサイクル・マイレージは提供し続けています。 <http://www.ecomile.jp/>

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 28 回)

●「松山市での EST の取り組み第 2 報」

【松山市都市整備部総合交通課副主幹 石井 朋紀】

今回は、新たなトラベルフィードバック(以下 TFP)の取り組みと、自転車の利用促進策のソフト事業の取り組みについて報告します。昨年度実施した TFP は、GPS 携帯を使用し、個人のポータルサイトから最適な交通を自動でフィードバックする方式のものです。これにより、従来の TFP では問題となっていた、交通診断者が様々な交通モードに対応したフィードバックを行う時間と手間を削減することや、正確な移動時間等を測定することが可能となりました。今回の TFP は、約 700 人のモニターが参加し、自動車利用が 10.9%減少する一方、公共交通、自転車利用がそれぞれ 1.5%、6.5%増加し、CO2 排出量は一人 1 日当たり 4.56kg から 3.44kg と約 25%の CO2 削減に成功しています。また、フィードバック時に希望者にはワークショップを実施し、利用転換の条件等についての意見をいただきました。この中で、公共交通については、料金や運行頻度等のサービス水準、自転車については、自転車道、駐輪場の整備等の要望が多く寄せられました。これを受け、自転車道のネットワークに先進的に取り組む自転車モデル地区の登録をし、さらに、自転車利用促進のワークショップも今年度実施しました。ワークショップでは、自転車利用促進の講演会のあと、約 80 人の参加者と市内を自転車で走行し、自転車の良い点、悪い点や道路の問題点などについて様々な意見を聞き、意識の啓発とマナーの向上とともに、今後の自転車道整備の必要性を再認識しました。さらに、今年度、自転車共同利用の社会実験を実施することとしており、短トリップの自動車からの転換を目指すコミュニティサイクルの実現の可能性をさぐることであります。今後は、TFP の参加者の拡大やワークショップなどの啓発活動を継続的に実施し、より多くの市民の CO2 削減の意識向上に努めてまいりたいと考えております。

3. ニュース／トピック

●アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する「京都宣言」の署名式について【環境省】

環境省と国際連合地域開発センターは、Better Air Quality(BAQ) 2008 のプログラムの中の特別セッションとして、アジアの市長による環境的に持続可能な交通(EST)に関する「京都宣言(別添参照)」の署名式を、タイ王国・バンコクにて開催しました。環境省では、関係機関とも連携し、アジア地域の環境的に持続可能な交通(EST)の実現に、引き続き積極的に取り組んでいきます。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10412>

●2007 年度(平成 19 年度)の温室効果ガス排出量(速報値)について【環境省】

2007 年度の温室効果ガスの総排出量(速報値)は、13 億 7,100 万トンでした。京都議定書の規定による基準年の総排出量と比べると、総排出量としては 8.7%上回っています。2006 年度の総排出量と比べると、エネルギー起源二酸化炭素について産業部門、家庭部門などからの排出量が増加したことなどにより、総排出量としては 2.3%増加しています。運輸部門は 2006 年度比-1.6%、基準年比では 14.6%の増加となっています。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10411>

●第 16 回「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

平成 20 年 11 月 20 日に第 16 回「エコレールマーク運営・審査委員会」が開催され、エコレールマークの認定商品として 6 件、認定企業として 4 件を新たに認定することが決定されました。エコレールマーク制度は、地球環境に優しい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000004.html

●エコドライブ推進月間について【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】

エコドライブの取組については、平成 18 年度に策定した『エコドライブ普及・推進アクションプラン』に基づき、警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省と連携し、普及促進を図っているところです。今年度も行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる 11 月を「エコドライブ推進月間」として、エコドライブシンポジウムの開催や講習会等積極的な広報を関係省庁及び関係団体と連携して行い、エコドライブの普及・推進を図ります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000018.html

●エコ・レールサポーター募集【富山市】

富山ライトレールでは、市民の皆様と一緒に「環境」に優しいまちづくりに貢献したいと考え、「ポートラム・エコプロジェクト 2008」を実施します。このプロジェクトでは、市民の皆様から「エコ・レールサポーター」として協賛を募り、環境に優しい「グリーン電力」を使用する「エコ・ポートラム」を運行します。

<http://www7.city.toyama.toyama.jp/topics/20081107.pdf>

●自転車専用通行帯(自転車レーン)の実証実験をおこないます【静岡県】

清水駅前地区は、国土交通省と警察庁から自転車通行環境整備モデル地区に指定されています。「安心・安全な自転車通行空間」確保に向け、モデル地区の 1 区間である辻町北脇 1 号線で実証実験を行い、その効果や課題を洗い出します。実証実験結果をもとに、より安全で安心できる自転車通行空間を整備します。

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/dorohozen/jitensyaHN>

●水島コンビナート・エコ通勤実証実験を実施します【倉敷市】

倉敷市では、水島コンビナート立地企業や商店街、公共交通事業者、行政機関等が参画する協議会を立ち上げ、一人一人が環境及び交通に関する課題について考え、普段の通勤を自動車から水島臨海鉄道を中心とした公共交通等に転換してもらうための可能性を探り、CO2 削減量削減効果を検証するため、水島コンビナート・エコ通勤実証実験を実施します。

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/koutsu/teitanso-eco.html>

●エコドライブキャンペーンを実施します【京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会】

京阪神の7府県市で構成する「京阪神七府県市自動車排出ガス対策協議会」は、低公害車及び低排出ガス車の普及や啓発活動など、京阪神地域における広域的な自動車排出ガス対策を行っています。その一環として、エコドライブ推進月間(11月)に合わせ、11月1日より各府県市を走行するバスの車外に、エコドライブ啓発広告を掲出する「エコドライブキャンペーン」を実施します。

<http://www.city.osaka.jp/oshirase/kankyojigyo/html/info61001108930105719.html>

●「低燃費コンテスト&シーニックの森づくり」参加者募集！【シーニックバイウェイ支援センター、株式会社トヨタレンタリース札幌】

シーニックバイウェイ支援センターと株式会社トヨタレンタリース札幌は、2008年11月1日からの1ヶ月間、共同企画として「低燃費コンテスト」を開催します。また、コンテスト期間中には環境省の平成20年度カーボン・オフセットモデル事業設計調査の一環として、「シーニックの森づくり(代行植樹)」によるシーニックバイウェイカーボン・オフセットの希望者受付を行います。詳細はシーニックバイウェイ支援センターまでお問い合わせください。

http://www.scenicbyway.jp/travelers_woods/index.html

http://www.scenicbyway.jp/travelers_woods/eco_contest2008/index.html

●Suica の鉄道乗車履歴を利用した駐車料金の優待サービスを開始【パーク 24、東日本旅客鉄道】

パーク 24 は、2005 年より、時間貸駐車場「タイムズ」に Suica で駐車料金が支払えるサービスを導入しています。これを踏まえ、パーク 24 と JR 東日本では駐車場で Suica をご利用されるお客さまのサービス向上施策の 1 つとして、中央線沿線等の「タイムズ」6 カ所において、Suica に記録された JR 線の鉄道乗車履歴を活用して駐車料金を自動で優待料金にするサービスを 2008 年 11 月 25 日(火)より順次開始します。

<http://www.jreast.co.jp/press/2008/20081109.pdf>

●「エコバックな羽得エコきっぷ」をJTBで限定発売【JTB、京浜急行電鉄】

株式会社ジェイティービーと、京浜急行電鉄株式会社は共同で 12 月 1 日(月)～3 月 31 日(火)まで、カーボンオフセット付「エコバックな羽得エコきっぷ」を発売します。これは、カーボンオフセット付ききっぷを、羽田空港から電車に乗って体感していただき、付属のエコバックの利用とともに気軽にエコ活動にご参加頂けるものです。

http://www.jtbcorp.jp/scripts_hd/image_view.asp?menu=news&id=00020&news_no=34

●ゼロ・エミッションに向けた次世代交通システムの検討に合意【ルノー・日産アライアンス、横浜市】

ルノー・日産アライアンスと横浜市は、横浜市が進める「環境モデル都市」の実行計画において、横浜市にふさわしい次世代交通システムの検討を開始することで合意し、覚書に調印しました。今回のパートナーシップでは、CO2 排出量の低減に向け、横浜市中心部および周辺部それぞれのエリアに対応した幅広い施策の検討を進めていきます。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2008/_STORY/081105-02-j.html

●より低燃費な運転を支援する「エコロジカル・ドライブ・アシスト・システム」を新開発【ホンダ】

Honda は、エンジンや CVT の制御などに加え、燃費運転に役立つ情報をドライバーに提供することで、より低燃費な運転を支援する「エコロジカル・ドライブ・アシスト・システム」を新開発しました。このシステムは、エンジンと CVT を協調制御する「ECON モード」、メーターの色変化で燃費走行状況を表示する「コーチング機能」、燃費運転の採点をする「ティーチング機能 - 採点機能 -」の 3 機能で構成されています。

<http://www.honda.co.jp/news/2008/4081120a.html>

4. イベント情報

●交通エコフェスタ

日時:2008 年 11 月 29 日(土) 10:00～15:00

会場:青葉イベント広場(静岡市葵区呉服町二丁目)

主催:静岡市

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/kotu/ekofesuta.html>

●第 3 回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 横浜

日時:2008 年 12 月 6 日(土) 9:30～17:30

会場:横浜国立大学/工学部講義棟及び教育文化ホール

主催:「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」実行委員会

<http://areev.org/>

●第7回 グリーン物流パートナーシップ会議

日時:2008年12月19日(金) 14:00~16:00(開場:13:30)

会場:経団連会館14F 経団連ホール (東京都千代田区大手町1-9-4)

主催:社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経
済産業省、国土交通省

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000015.html

●交通権学会 関東部会

日時:2008年12月20日(土) 13:30~17:00

会場:明治大学 駿河台キャンパス リバティータワー8階 1084号教室

主催:交通権学会

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/kotsuken-gakkai/division/kanto.html>

5. その他

●EST 創発セミナーの講師発表資料を EST ポータルサイトに掲載

今年9月から11月にかけて広島、那覇、北九州、仙台で開催したEST 創発セミナーに
おける講師の方々の発表資料を EST ポータルサイトに掲載しました。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu.html>

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取
組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomor.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>